

日頃から市政に対してご理解ご協力をいただき、ありがとうございます。

現在、石岡市では令和4年度からの10年間のまちづくり指針である「石岡市総合計画（基本構想・基本計画）」に基づいて各事業を実施しています。10年後、より良いまちになったと実感できるまちづくりの実現に向けて、市民の皆様の考え方やご意見などを伺い、現状を確認させていただくために調査を実施いたします。

お忙しいところ大変恐縮に存じますが、石岡市のまちづくりの基礎資料となる重要な調査ですので、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

令和7年12月 石岡市長 谷島洋司

アンケートに関する説明

(1) 概要

- ① 本調査は、16歳以上の市民の中から3,000人を無作為に抽出して行うものです。
- ② 回答は宛名のご本人がお答えください。事情によりご本人が回答できない場合は、ご家族の方がお答えいただいても構いません。
- ③ 石岡市総合計画は、4つの分野とそれを下支えする1つの政策目標という構成になっています。それぞれの分野ごとに項目を分類し、34問の質問を設けています。
- ④ **今年度のみ** 現在、市では「石岡市公共施設等総合管理計画」の改定作業を行っています。計画改定にあたり、市民の皆さまの公共施設に関するお考えを聞かせていただくために、『設問6「公共施設」分野』に5問の質問を設けています。ご協力のほどよろしくをお願いいたします。
- ⑤ 自由記述を除いた回答時間は10～15分程度です。

回答期限(郵送の場合は必着)

令和8年1月15日(木)

(2) 回答方法

Webか調査票（郵送）のどちらかで回答してください。

Web	調査票（郵送）
 <p>スマートフォンから下のQRコードを読み取り、回答をお願いします。</p>  <p>← 回答フォーム</p>	 <p>調査票にご記入の上、同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずに、ポストに投函してください。</p> 

(3) 個人情報の取扱いについて

調査票は **無記名** でお答えください。返信用封筒にも記名する必要はございません。

調査結果は統計的に処理しますので、個人を特定するものではありません。

裏面につづく

【問合せ先】 調査に関するご質問等はこちらまでお問い合わせください
石岡市役所 市長公室 政策企画課 担当：門向・大和
TEL：0299-23-7277

(4) 回答用紙の書き方

別紙「調査票」のそれぞれの質問に対して、あなたの考えや行動に最も近い回答の数字を各質問の右側の回答欄に記入してください。

(回答例)

(1)石岡市(石岡市での居住・生活・子育て・通勤・通学・活動等)を知人に「お勧めしたい」気持ちを11段階で教えてください。

10 9 8 7 6 5 4 3 2 1 0

気持ちが強い

気持ちが弱い

回答欄
8

(2)石岡市に愛着(親しみを感じ、心ひかれる気持ち)を感じますか？

- 1)感じる
- 2)どちらかといえば感じる
- 3)どちらかといえば感じない
- 4)感じない

回答欄
2



※注意※

間にはさまっている
A4用紙も調査票の一部です
(全6ページ)

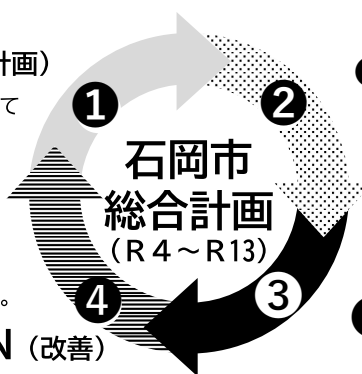
本調査の目的

石岡市では、令和4年度からの10年間のまちづくりの指針である「総合計画」に沿って、さまざまな取組を進めています(具体的な取組内容は別紙をご覧ください)。

今回の調査は、これらの取組が皆さまの暮らしにきちんと届いているかを教えていただくためのものです。お寄せいただいたご意見は、今後の事業の見直しや、より良いまちづくりに向けた参考にさせていただきます。日頃感じていることや、普段の生活の中で思うことを、気軽にお聞かせいただけますと幸いです。

① PLAN (計画)

現状や課題を整理して計画を立てます。



② DO (実行)

計画に沿って事業を実行します。

事業実施により得られた成果を評価します。

③ CHECK (評価)

評価を踏まえて実施事業の改善をします。

④ ACTION (改善)

市民意識調査の
回答結果を
評価に反映
させています!

「石岡市公共施設等総合管理計画」とは？

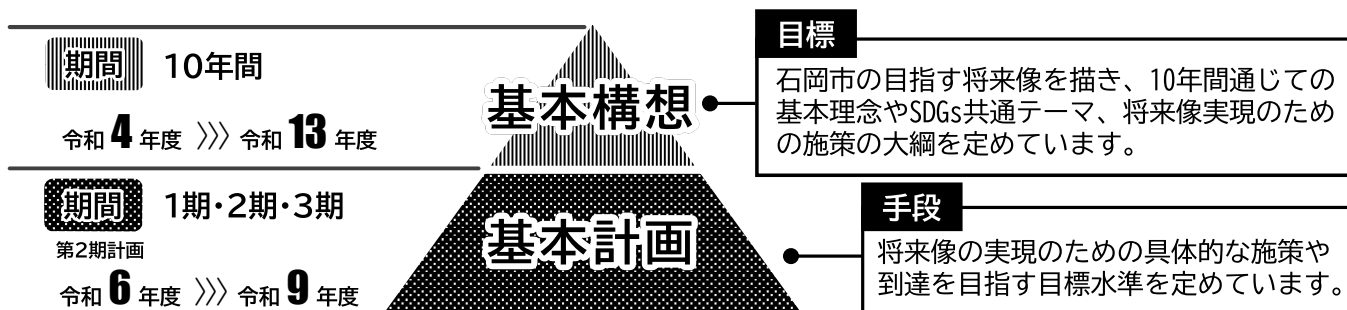
石岡市では、公共施設等の適正な維持管理を長期的な視点で計画的に行い、限られた財源の中で将来にわたって適切な維持管理ができるよう、平成29年3月に「石岡市公共施設等総合管理計画」を策定しています。

令和8年度の計画改定に伴い、時代に即したまちづくりに向け、市民の皆さまの声をお聞きしながら、公共施設の最適化を図っていきたいと考えています。



石岡市総合計画の概要

総合計画（基本構想・基本計画）は、まちづくりの基本方針であり、石岡市における最上位計画です。市民と行政が一体となり、共通の目標である将来像の実現に向けて、現在は石岡市総合計画の第2期基本計画を推進しています。



将来像

誰もが輝く未来へ 共に創る石岡市

基本理念

「安全・安心」「魅力・発信」「対話・学び」

SDGs
共通テーマ人口減少・少子高齢化
・関係人口増加への対策協働による
まちづくりの推進情報通信技術
の活用

4つの分野と9つの政策目標



石岡市では令和13年度までに目指す将来像を「誰もが輝く未来へ 共に創る石岡市」と定めています。

この将来像の達成に向け、誰一人取り残さない持続可能でよりよい社会の実現への取組を様々な主体が共有し、結婚、出産、子育て、教育、社会経済活動、生きがい等、生涯にわたり誰もがあらゆるライフステージで、輝く未来を創り上げることができる石岡市を目指します。

そのためには、安全で安心なまちづくりや、魅力ある様々な地域資源を活かしたまちづくり、対話による学びを通じた共創のまちづくりを進める必要が

あります。複雑化・多様化する社会情勢に柔軟に対応しながら、持続可能な社会を創り上げていきます。

将来像という目標に向けて、市が何に取り組むべきかは「基本計画」で定めています。具体的な施策や、目標達成に向けてどれだけ進んでいるかを確認するための指標を設定しています。

市では総合計画をはじめとする各種まちづくり計画をもとに、今やるべき事業を決めて取り組んでいます。

「石岡市総合計画」の詳細
は市ホームページをご覧ください →



今年度の目玉事業(リーディングプロジェクト)

※令和7年度リーディングプロジェクトから一部抜粋

魅力向上 市制施行20周年記念事業

石岡市市制施行20周年を記念し、式典を開催します。

式典では、伝統芸能であるお囃子や石岡の未来を担う児童生徒による合唱、ふるさと学習発表等を実施します。

※式典は令和7年10月4日に開催しました。



▲ 石岡市市制施行20周年記念ロゴマーク

ひと 教育支援センターの設置

不登校支援や特別支援教育、日本語指導など、一体的な支援が可能な施設となります。

一人ひとりのニーズに応じて、小集団からの人間関係づくり、居場所の提供、学習支援、日本語支援、社会的自立のための相談・支援をしていきます。



▲ 教育支援センター(旧北小学校)

チャレンジする市役所 電子契約システムの導入

インターネット上で、市と事業者が契約書の文面を記録した電子データにより契約締結(電子署名・タイムスタンプ)するシステムを導入します。

システムを導入することにより紙文書の契約書の作成が不要となり、双方の負担軽減に繋がります。また、インターネット環境があれば来庁しなくても契約が結べるようになることによって事業者の利便性の向上に寄与します。

まち 上曽トンネル整備事業(維持管理)

地域住民の生活・交流に加え、地元産業や物流・観光を支える重要な路線として、上曽峠のトンネル整備を進め、県南地区と県西地区間のネットワーク強化による広域的な地域活性化を目指します。

※令和7年9月27日に供用開始しました。



▲ 上曽トンネル

暮らし 地域ぐるみの有機農業の推進

石岡市の有機農業は、生産者・団体等が国から受賞・表彰されるなど高い評価を受けています。

令和7年度は、地域ぐるみで有機農業を推進するため、生産者・団体等と協力し、学校給食への有機農産物の提供や、有機農業に関するイベントを開催します。



▲ 石岡市産の野菜

人口減少対策 石岡暮らし体験の実施

先輩移住者の元を巡りながら「暮らし」・「生業」体験を通して接点を築き、地域を知ることによって移住へのハードルを下げることを目的として石岡暮らし体験を実施します。



▲ 石岡暮らし体験の様子

「令和7年度リーディングプロジェクト」(全編)はこちらからご覧ください →



用語の解説

市民意識調査の中にある、行政用語など分かりにくい言葉について解説します。

▶ 中心市街地

本市の中心市街地の区域は、「石岡市中心市街地活性化基本計画」で位置付けられており、国道355号線と県道石岡停車場線の結節点を中心に約500mの範囲を基本とした約97.4haとしています。

「石岡市中心市街地活性化基本計画(第3期)」は市ホームページからご覧いただけます →



▶ 地域医療

地域に暮らす人々が、住み慣れた場所で必要な医療を継続して受けられるようにするための医療提供体制のことです。

「石岡地域医療計画」は石岡市・かすみがうら市・小美玉市の3市で策定しており、産科設置や小児科拡充、救急医療体制の継続など石岡地域が抱える課題に取り組んでいます。

「石岡地域医療計画」は市ホームページからご覧いただけます →



▶ ふれあいの里石岡 ひまわりの館

ひまわりの館は市の高齢福祉施設であり、市民誰もが健康で生きがいを持ち、安心して暮らせるまちとするための高齢者福祉の情報発信基地、健康、生きがい、交流の拠点施設を目指して設置されています。

高齢者はもちろん、だれでも安心してご利用いただけます。

「ふれあいの里石岡 ひまわりの館」の概要は市ホームページでご覧いただけます →



▶ チャレンジする市役所(行財政改革大綱)

今後予想される少子・高齢化や急速に進展するデジタル社会への対応など社会情勢の変化にも即応できるよう、失敗を恐れず、常に改善、改革に取り組むチャレンジ精神が成長戦略である総合計画の実現に向けて非常に重要です。

すべての分野を下支えするものとして行財政改革大綱を「チャレンジする市役所」として総合計画の中に位置付けています。